

試料・情報利用研究計画書(概要)					
研究番号	2023-1008	利用形態	共同研究		
研究題目	老化関連代謝物質及びその制御機構の検討(後方視的観察研究)		研究期間	2023年9月～2032年3月	
主たる研究機関	国立循環器病研究センター	責任者氏名・職	清水 逸平	部長	
分担研究機関	東北メディカル・メガバンク機構	責任者氏名・職	小柴 生造	教授	
	新潟大学	責任者氏名・職	奥田 修二郎	教授	
研究目的と意義	東北大学東北メディカル・メガバンク機構は、国立循環器病研究センター、および新潟大学と「老化関連代謝物質及びその制御機構の検討(後方視的観察研究)」という共同研究を行っております。この研究において我々は加齢及び加齢性疾患に伴い血液で増加する代謝物質のうち老化形質を促進する代謝物質を「老化促進代謝物質」と定義し、老化に伴い増加する代謝物質(セノメタボライト)を同定します。セノメタボライトが上昇するメカニズムとその病的意義を明らかにし、治療法の開発を目指したいと考えております。				
研究計画概要	本目的を達成するために、老化に伴い血液中で発現量が変動する代謝物質の探索を、東北メディカル・メガバンク機構で取得されているメタボロームデータを用いて検討させていただきます。 また、本研究はヘルシンキ宣言と人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省・経済産業省)に基づいて行われます。				
利用試料・情報	対象:東北メディカル・メガバンク計画コホート調査参加者のうち20歳以上の成人約2,000人 試料:なし 情報:メタボロームデータ、検体提供者の背景(年齢、性別、身長、体重、BMI、腎機能、肝機能、喫煙歴、飲酒歴、既往歴(基礎疾患の影響を研究から除外するため)、心不全の有無及び重症度、内服薬)、特定健康診査情報				
期待される成果	セノメタボライトが上昇する詳細な分子基盤を明らかにすることで、新しい抗老化治療法の開発につながる可能性があります。				
倫理審査等の経過	2023年8月 国立循環器病研究センター研究倫理審査委員会承認 2023年9月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認				
倫理面、セキュリティー面の配慮	東北大学東北メディカル・メガバンク機構から外部への試料の提供はありません。特定の個人を識別できないよう加工した調査票情報、生化学検査情報、メタボローム情報は共同研究先と共有され、共同で解析を行う場合があります。その場合も東北大学東北メディカル・メガバンク機構において個人情報加工された試料・情報のみを用いるため、提供する試料・情報には、個人が特定できる情報は含まれません。 また、提供する情報は、機構内にあるスーパーコンピュータの共同研究区画に必要なデータを置き、スーパーコンピュータ上で解析を行います。				
その他特記事項	国立循環器病研究センター基盤経費				
	*公開日 令和5年9月15日				